

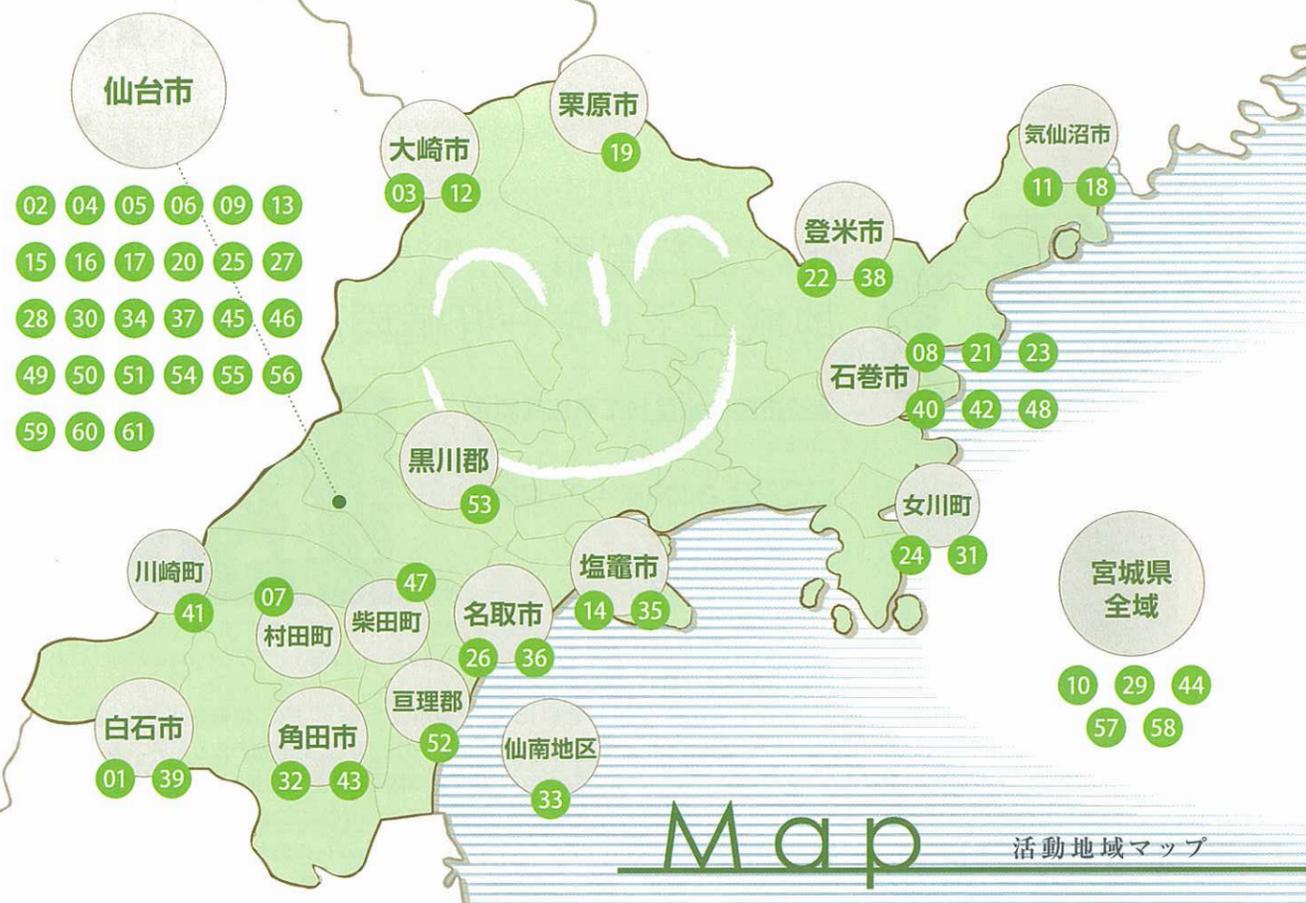
応募者リスト

エントリー番号・プロジェクトタイトル	掲載ページ
入賞 01 しろいしエコプロジェクト (愛称:もったいない運動) 【白石市】	p.10
02 らくちんエコポケット (袋型環境家計簿) 【仙台市地球温暖化対策推進協議会市民部会】	p.13
入賞 03 温泉deエコ 【東鳴子ゆめ会議】	p.10
04 脱、こたつ 【Team -こたつ%】	p.14
優秀賞 05 太陽と緑のエコスクール北六・エコタウン宮町 【仙台市立北六番丁小学校6年生】	p.07
06 除湿で上質な夏を! 【伊藤組】	p.14
07 畑の土づくり活動 【村田町立 村田第三小学校】	p.14
08 ごみ減量 【太田達夫】	p.14
09 ちゅら箸(赤箸) から考える 【飲み食べ事屋ちゅら】	p.15
入賞 10 電気ダイエット 【みやぎ生活協同組合】	p.10
優秀賞 11 菜の花栽培とバイオ燃料で温暖化防止と地域活性化 【特定非営利活動法人 大島大好き】	p.07
12 リサイクルデザイン展示館(工房) 【大崎市古川リサイクルデザイン展示館(工房)】	p.15
優秀賞 13 しあわせのおすそわけ “マイ箸” 【NPO Team Being】	p.09
優秀賞 14 魚のまち塩竈地域エネルギー好循環形成事業 【塩釜市団地水産加工業協同組合】	p.06
15 私の省エネ術 【ホーソングラブ】	p.15
16 我が家のサマータイム 【個人】	p.15
17 かんきょうエコチャレンジ教室 【特定非営利活動法人 みやぎ環境カウンセラー協会】	p.16
優秀賞 18 我が家の省エネ 【千葉清幸】	p.09
19 Pure Vegetable Fuel (宮城からエネルギーの地産地消を) 【株式会社 後藤バイオ】	p.16
20 生活排気の削減 【株式会社 新興】	p.16

エントリー番号・プロジェクトタイトル	掲載ページ
入賞 21 ごみ減量「卵1個分で1億円」 【石巻市環境保全リーダー2期生】	p.11
優秀賞 22 登米市バイオ・ディーゼル燃料(BDF)推進事業 【登米市】	p.08
23 放課後児童クラブにおけるこどもエコクラブ活動 【石巻市生活環境部環境対策課】	p.16
入賞 24 女川町新多目的交通システム「シーパル号」町内をめぐるシーパル号とエコ意識 【女川町】	p.11
優秀賞 25 環境にやさしいビルづくりを目指して 【ファッションドーム141】	p.08
26 わんこの暑さ対策 【個人】	p.17
27 我が家の「だめだっちゃん温暖化」 【個人】	p.17
28 間伐材活用の雨水貯留浸透槽開発 【東王技研株式会社】	p.17
29 ヒートポンプ技術を取り入れたCO ₂ 排出量の削減提案 【サンデン株式会社東北支社】	p.17
入賞 30 大学生を対象としたエコ&エネルギーワークショップおよび同ワークショップ発表会 【東北電力株式会社 仙台営業所】	p.11
31 太陽光発電・太陽熱利用 【女川町役場町民課 温泉温浴施設「女川温泉ゆほほ」】	p.18
入賞 32 省資源・省エネルギーの活動 【宗教法人 曹洞宗 長泉寺 ミネ幼稚園】	p.12
33 蔵王山麓地区「エコフィード」の取組み 【株式会社ニチレイフーズ白石工場】	p.18
34 生活の仕方を自分で考える 【個人】	p.18
35 塩竈発電・給湯所 【㈱テクノセントラル】	p.18
36 廃食用油によるバイオディーゼル燃料プラントシステム構築 【株式会社オイルプラントナトリ】	p.19
37 とにかくやってみる作戦 【個人】	p.19
38 省エネ実践塾(3回連続講座) 楽しくエコライフ♪省エネ茶話会 【省エネ共和国 きららアースファミリー】	p.19
39 宮城県内新技術による作業環境改善とCO ₂ 削減 【株式会社ニチレイフーズ白石工場】	p.19
40 イベント会場でのゴミ分別回収と減量化 【石巻市環境保全リーダー3期生】	p.20

エントリー番号・プロジェクトタイトル	掲載ページ
41 スローなエネルギーが作り出すおいしいお米!!バツリ米!! 【個人】	p.20
42 エコクラブ活動を通して 【スペシャル BOY&Girls エコクラブ】	p.20
43 長泉寺の省資源・省エネルギーの活動 【宗教法人 曹洞宗 長泉寺】	p.20
優秀賞 44 リコー東北 ごみゼロ活動への取組み 【リコー東北株式会社】	p.09
優秀賞 45 マイバッグ普及活動 【RNECS】	p.07
優秀賞 46 輪王寺エコプロジェクト 【宗教法人 輪王寺】	p.08
入賞 47 仙台笹舟プロジェクト2007 ~人が乗れる笹舟づくりを通じての環境学習~ 【特定非営利活動法人 笹舟】	p.12
48 節電戦隊パッチンジャー大作戦(仮) 【石巻市立住吉中学校】	p.21
49 会社に一人環境担当プロを! (障害者雇用事業として) 【NPO法人 けやきオフィス町内会】	p.21
50 打ち水マンション 【個人】	p.21
51 常にマイバッグ in my pocket 【個人】	p.21

エントリー番号・プロジェクトタイトル	掲載ページ
52 夏の涼風作戦 【個人】	p.22
53 ライトダウンでまったり温暖化防止 【個人】	p.22
入賞 54 岩中環境戦隊 エコレンジャー 【仙台市立岩切中学校 環境戦隊エコレンジャー】	p.12
55 ユーメディア「エコオフィスプラン」 【株式会社ユーメディア】	p.22
56 パソコン使って省エネしよう、eco-Office 講座 【個人】	p.22
57 環境保全活動全般及び、情報伝達と普及活動 【NPO 法人 G.S.A 宮城・大崎チーム】	p.23
58 環境保全活動全般及び、情報伝達と普及活動 【NPO 法人 G.S.A 宮城・石巻・東松島チーム】	p.23
入賞 59 Green Drinks in Sendai 【Green Bridge Project】	p.13
60 薄層緑化基盤マットの開発とその応用 【株式会社 丹勝】	p.23
61 さくら野打ち水隊 【㈱さくら野百貨店仙台店】	p.23



活動地域マップ

● 最優秀賞

in
みやぎ



宮城県知事賞

魚のまち塩竈 地域エネルギー好循環形成事業

塩釜市団地水産加工業協同組合

- 実施期間** 2005年4月～現在
- 活動地域** 塩竈市
- 参加人数** 数百名



エントリー No.
14

活動内容

平成15・16年度塩竈市策定の「塩竈市地域新エネルギービジョン」が活動のきっかけ。

塩竈市は水産加工業の中でも練り製品生産高が日本一。そのうち揚蒲鉾が大半を占めているため、大量の廃食用油が発生しています。これをBDF事業によって資源へと転換し、循環型社会の構築とCO₂削減、基幹産業の活性化を目的とし、エネルギーの地産地消を目指しています。

BDF製造プラントの建設ならびに廃食用油の回収からBDFの製造・販売までの事業運営については当団地組合が実施しており、事業の運営については、市民・行政・企業の任意団体からなる「グローバルエコシティ塩竈推進協議会」を設立し、幅広い普及にあたっています。

市内揚蒲鉾工場など約30ヶ所を中心として収集し、組立員、市公用車、ごみ収集委託車両、運輸関係車両

等約150台で使用しています。また、塩竈市が(独)水産総合研究センターと共同で、全国初の取り組みである船へのBDF導入実験を、松島湾の島と島とを繋ぐ足として運行している市営の渡船にて実施しています。漁業資源をもとにした海から陸への流れを、市営渡船での利用によって陸から海へと展開し、さらに循環をはかっています。

その他、市内中学校理科の時間での子ども手作りBDF実験、PR用ロゴマークを小中高校から募集しステッカーとして使用、BDF燃料を利用した発電機によるイルミネーションの点灯、市内イベントにてエコキャンドル作りなど、地域の人々との交流も行なっています。

CO₂削減効果として、約45,000ℓ/月収集し、36,000ℓ/月生産しているため、月平均で約94tの削減量となります。



● 優秀賞 / 9 団体



麒麟ビバレッジ
株式会社賞

太陽と緑のエコスクール北六・エコタウン宮町

仙台市立北六番丁小学校 6年生

<http://www2.sendai-c.ed.jp/~kitaroku/gakunenn2007/6nen2007/index.html>

エントリー No.
05

- 実施期間** 2006年4月～2008年3月(予定)
- 活動地域** 仙台市青葉区
- 参加人数** 6年児童49名(担任2名)

活動内容

「地球的な視野に立ってエネルギーや地球温暖化の問題を考え、解決のために自ら判断して実践していく力」を育成することを目指してさまざまな取り組みを行った。

◆2006年度5年生 「太陽と緑のエコスクール北六」

- ①緑を利用したエコスクール～壁面緑化活動 ②雨水を利用したエコスクール～天水桶・打ち水活動 ③太陽を利用したエコスクール～太陽光発電活動(ソーラーカー実験) ④太陽と緑の梅田川エコ水

族館(使わなくなった鶏小屋を水生生物飼育のエコロジーハウスへ)

◆2007年度6年生 「環境と歴史のエコタウン宮町」

- ⑤実現!太陽と緑の梅田川エコ水族館(エアポンプは風力・太陽光のハイブリッド発電による) ⑥地球温暖化とわたしたちの暮らし(家庭で) ⑦実践!エコタウン宮町(地域で)(予定)

日本水大賞で文部科学大臣賞受賞。平成16年エネルギー教育実践校に選定。



株式会社産孝賞

菜の花栽培とバイオ燃料で温暖化防止と地域活性化

特定非営利活動法人 大島大好き

<http://ohshimad.exblog.jp/>

エントリー No.
11

- 実施期間** 2005年～
- 活動地域** 大島を中心とした気仙沼市内
- 参加人数** 約100名

活動内容

大島の過疎化や観光客の減少など地域問題解決のため、島への体験学習プランに力を入れてきました。温暖化が島の自然保全はもちろん子どもたちの将来にも眼前に迫った問題と考え、環境活動を機軸にして地域活性化へ取り組むべくNPOを立ち上げました。

- ◆BDF事業。学校給食センターなど約20ヶ所から廃食油を回収。理事長宅のプラントにてBDFを精製し、年間20,000ℓを市内約

20台の車(タクシー、貨物トラック、市環境課バン、会員マイカーなど)が利用。

- ◆ベレットストーブの普及。市内で8台を利用中。
- ◆菜の花栽培。種まきと開花時期に合わせ交流会を実施。菜種は大東町の工房「地あぶら」の搾油装置で製品化、販売。
- ◆BDF精製の副生成物グリセリンもバイオ燃料発電プラントでの利用や畜産試験場での堆肥の発酵促進剤としてテスト利用など。



株式会社伸電賞

マイバッグ普及活動

RNECS

<http://rnecs.michikusa.jp/>

エントリー No.
45

- 実施期間** 2001年～
- 活動地域** 主に仙台市内
- 参加人数** 約50名

活動内容

学生たちが持ちたいと思うようなデザインのマイバッグがなく、そこで、大きさや機能性にこだわり、ちょっとおしゃれなマイバッグを開発、学内の購買で販売することから始めた。

テーマは「楽しく・お得に・かっこよく」、オリジナルマイバッグの販売をしています。

- ◆マイバッグに関して、さまざまなデザインで、アンケートによりニーズに合った機能的なマイバッグを作成。

- ◆マイバッグの販売では、お客さんに自分で色を塗ったり絵を描いたりしてもらった。また、レジ袋を断る練習をつけるなど、ただ売っただけではなく、使ってもらえるように販売している。
- ◆オープンカフェに出店しているお店と協力し、町での販売も実施。環境イベントなどにも出展した。





環境にやさしいビルづくりを目指して

エントリーNo. 25

東北電力株式会社
宮城支店賞

ファッションドーム 141
<http://www.141.co.jp/>

- 実施期間** 1996年以降 12年
- 活動地域** 仙台市内
- 参加人数** 当社社員・テナント従業員・アルバイト含め約1,000名

● 活動内容

- ◆一番大事なことはテナント従業員に3Rを理解してもらいながら、シンプルで無理のないシステム作りを行い、できるレベルから開始し、試行錯誤を重ね制度を高くしていること。
- ◆館内からの廃棄物は20種類をリサイクル、うち4種類に関しては製品化され、それを再使用する循環型廃棄物処理システムを確立しています。
- ①厨房排水汚泥のEM菌を利用した肥料化、JAから生産者へ。②食品売り場・飲食店の食品残さの堆肥化③割り箸のリサイクル、再生紙を館内

パンフレット・会社案内に使用④年間13tの雑紙(ミックスペーパー)のリサイクル、再生トイレットペーパーの購入

◆また、新たな環境への取り組みとして環境付加低減を行い、エネルギーの削減に取り組んでいます。

- ①発泡スチロールの減容化。可燃ゴミからリサイクル素材の原料へ。コストも1/12に。②廃CDを利用した床材の施工。床材は繰り返し再生使用可能、ワックス掛け不要。③屋上散水。オーバーフロー水を利用し、空調付加軽減・下水道料金削減。④遮熱塗装。吹き抜け最頂部のガラス面・スチール枠に遮熱塗装で空調負荷を軽減。



登米市バイオ・ディーゼル燃料(BDF)推進事業

エントリーNo. 22

東北労働金庫賞

登米市
<http://www.city.tome.miyagi.jp/>

- 実施期間** 2006年9月～
- 活動地域** 登米市内全域
- 参加人数** 89,316名

● 活動内容

- きっかけは市長の「来年度にはBDF市民バスに乗りたないなあ。」の一言。そこから職員が一丸となって取り組みを開始。
- また、時を同じくして知的発達障害者利用施設「はんとく苑」から「BDFをやってみよう」との相談を受けたことから、「市は家庭系廃食油回収とBDF市民バス運行」、「はんとく苑は事業所系廃食油回収とBDF製造」という枠組みができました。

現在では市民や事業者と協力をいただき、天ぷら油を回収、毎日200～300ℓをBDFに再生し、市民バスや公用車で使用しています。ポイントは予算ゼロの仕組み。市が回収した廃食油をはんとく苑が0.5円/ℓで買い取り、市は精製したBDFを80円/ℓで購入するという方式。市は燃料費が浮くだけでなく、障害者自立支援にもなります。市、はんとく苑、市民の3者が共に経済的な利益を得ることができる、その仕組みが事業を長続きさせるコツです。



輪王寺エコプロジェクト

エントリーNo. 46

凸版印刷株式会社賞

宗教法人 輪王寺
<http://www.rinno-ji.or.jp/>

- 実施期間** 10年間
- 活動地域** 輪王寺内ならびにその周辺地域
- 参加人数** 1,200名(平成19年5月27日の植樹祭時)

● 活動内容

- 寺から出るゴミを見て「もったいない」「これでいいの?」と疑問に持ち、寺でできることはないか?と、堆肥作り・炭焼・植樹などを始めました。テーマは長年自然と共生してきた仏教の知恵を生かし、実践すること。
- ◆ふるさとの木によるふるさとの森作り(4年間で3万本の植樹)
- ◆堆肥作り(墓参の際に出る供養花・供物、落ち葉や雑草生ゴミなどをすべてを堆肥にし、土壌に生かす。近所の知的障害者と共に行っています。)

- ◆炭焼(古くなった花竹や寺から出る間伐材を炭にし、寺で活用)
- ◆エンターテイメント(輪王寺発のキャラクター「植樹マン」を誕生させ、子ども達に楽しみながらわかりやすいのちの森と植樹の大切さを伝えている。「植樹ウーマンコノハ」も誕生)
- ◆環境教育(幼稚園や小中学校、会社を招いて植樹体験学習を行っている)
- ◆苗木づくり(潜在植生の苗木作り。約10種類2,000本を作った)
- ◆環境教育玩具(町内会の方と廃材利用で玩具を作成、お祭りや販売し環境保全のための基金としている)



リコー東北 ごみゼロ活動への取り組み

エントリーNo. 44

株式会社日専連
ライフサービス賞

リコー東北株式会社
<http://www.r-tohoku.rioh.co.jp/>

- 実施期間** 2002年7月～
- 活動地域** 宮城県内
- 参加人数** 373名

● 活動内容

- 2001年ISO取得後、自分達で実践できる活動はなにかを考え、「ごみゼロ」活動を構築することになった。特に若い社員を中心に「明るく!楽しく!時には厳しく!!」をモットーにスパイラルアップして活動している。
- (1) クリアデスクと分別活動によるリサイクル率の向上
整理整頓をはじめ、無駄なものをおかないオフィス作り。また、ごみではなく「資源」という意識のもと、「環境パトロール」や「日々の計量活動」など全員参加型で取り組んでいる。
- (2) 紙にこだわった「ペーパーレス活動」

電子化やスキャナの活用を促進。出張申請書や給料明細書は紙ではなくパソコンで電子的に実施。FAX文書も一部紙に出力しない。

(3) チームマイナス6%への取り組み
毎週水曜日と金曜日は「エコデー」と題し、18:30以降は残業をしないよう呼びかけています。

(4) ライブオフィスによる「環境の環」を広げる活動
オフィスを「ライブオフィス」として紹介しています。実際の風景を見ていただくことで社内の取り組みを参考に、自社内の改善を行うお客様も増えてまいりました。



我が家の省エネ

エントリーNo. 18

明治乳業賞

千葉 清幸

- 実施期間** 2004年～
- 活動地域** 気仙沼市(自宅)
- 参加人数** 5名

● 活動内容

- 会社人間で省エネに長年取り組んできましたが、自宅での省エネに取り組んでいないことに奮起一転、省エネルギーセンターの「省エネナビ」モニターになり、待機電力カットから身近なところでの省エネに取り組む始めました。
- ～身近なところから～
- 意識付けの温度計取り付け ●冬のひざ掛け利用 ●待機電力削減

- 外灯自動点滅導入 ●白熱電球を蛍光管電球に交換 ●茶の間天井照明器具を扇風機機能付き取り付け ●瞬間湯沸し式暖房便座取り付け ●朝顔による緑のカーテン ●マイバッグ
- ～台所改装に合わせて～
- 天井採光窓取り付け ●空調換気扇取り付け ●後付け二重サッシ取り付け ●床下、壁断熱 ●窓に断熱フィルム貼り付け
- ～車買い替えに合わせて～
- ハイブリット車購入



しあわせのおすそわけ“マイ箸”

エントリーNo. 13

株式会社
リブネット賞

NPO Team Being
<http://www.team-being.com>

- 実施期間** 2007年1月～
- 活動地域** 仙台市内 他
- 参加人数** 約20名

● 活動内容

- 世界的に森林がなくなり、地球温暖化や砂漠化を加速させている中、その問題解決を「杜の都」仙台の地から積極的に広めていきたいと思いスタート。材料は全てリサイクルにこだわり、制作は地域活性につながるよう通所授産施設に依頼しています。
- 【「しあわせのおすそわけ“マイ箸”」の特徴】
- 1. 箸の木材:市内の工務店から余った木材を譲っていただき、ひとつひとつ手作り。

- 2. 箸袋:市内のインテリア総合卸商社さんからカーテン・暖簾の余りをいただき、縫製。
- 3. 環境配慮(3R): 割り箸使用をReduce(減らす)、洗えば何度でもReuse(再利用)、木材やカーテンなど本来は産業廃棄物として処理される「ゴミ」をRecycle(再資源化)
- 4. 循環型社会の構築:制作を市内の通所授産施設に依頼しており、施設利用者の社会復帰・社会参加・就労支援。



●入賞 / 10 団体

in
みやぎ



しろいしエコプロジェクト (愛称:もったいない運動)

白石市
http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/

エントリー No.
1

実施期間 2006 年度～
活動地域 白石市全域
参加人数 事業により参加人数は異なる

● 活動内容
平成 14 年 2 月に ISO14001 を取得し、省エネなど取り組みを行った。その後 17 年には市役所全体に定着したため、認証を継続しないものとした。それに伴い、新たに「しろいしエコプロジェクト」を開始した。
◆ 市役所所...
① 環境管理活動
② 地球温暖化防止実行計画

- ◆ 住民・団体との連携で...
- ① 白石市生ごみ資源化事業所(愛称:シリウス)の運営
 - ② いきいきプラザの運営
 - ③ 市内一斉クリーン作戦
 - ④ 市内一斉小中学校ごみ分別学習作戦
 - ⑤ 白石市まちをきれいにリサイクル運動報奨金事業
 - ⑥ まちづくり会議リサイクル推進作戦
 - ⑦ その他支援



「温泉 de エコ」

東鳴子ゆめ会議
http://www.koiyade.gozar.jp/

エントリー No.
3

実施期間 4 月～ 11 月
活動地域 大崎市 鳴子温泉 東鳴子地域
参加人数 300 名

● 活動内容
“人と環境に優しい湯治場づくり”をテーマにさまざまな取り組みを行っている。地元の志願組織「東鳴子ゆめ会議」。
① 湯めぐりや湯治場の移動に、CO₂を出さない三輪自転車「トライク」。現在 20 台があり、子どもの登下校時のパトロールする「パトライク隊」でも大いに活用されている。
② 夏のお盆の時期、町の電気を消し、地元の竹林で作った 1,500 本の竹灯籠を飾る「光の盆」。

- ③ 「山守り湯治」と称して、地元の子供達や湯治客とともに山の間伐後の植林や下草刈りなどを行い、山林の保護と水の循環、温泉の湧出、景観作りを行う。
- ④ 東鳴子温泉は日本有数の「重曹泉」。水環境に負担をかけないよう重曹を積極的に使うよう啓蒙をしている。
- ⑤ 地元でとれたお米を地元の宿で食べてもらうようにしている。「鳴子の米プロジェクト」にも賛同・協力しています。



電気ダイエット

みやぎ生活協同組合
http://www.miyagi.coop/

エントリー No.
10

実施期間 9 月中旬～ 10 月中旬
活動地域 宮城県内
参加人数 1,751 世帯

● 活動内容
みやぎ生協では 2004 年に「温暖化防止自主行動計画」を策定し、広く県民・組合員に向けて、くらしの中で取り組む 8 つの省エネ行動「省エネイト」を呼びかけてきました。中でも「待機電気をカットしましょう」「冷房は 1 度高く、暖房は 1 度低くしましょう」「環境家計簿をつけてわが家のエネルギー使用量の実態を把握しましょう」の実践版として電気ダイエットを始めました。
家族で 1 ヶ月間、節電(ダイエット)に取り組み、「電気使用量のお知らせ」

のコピーを報告書に貼って提出する。だれもが気軽に参加できる。その他、節電のポイントや情報などを紹介した「ダイエットのヒント」を参加者に配布し、アピールしました。ダイエットのために取り組んだことや、感想を記載してもらった欄を設けたところ関心の高さがうかがえ、また、失敗した方は原因を考え、次の行動につなげることができる。



ごみ減量「卵 1 個分で 1 億円」

石巻市環境保全リーダー 2 期生

エントリー No.
21

実施期間 2001 年～
活動地域 石巻市
参加人数

● 活動内容
平成 7 年より家族で EM ポカシを使って生ごみの堆肥化に取り組んできました。すると、1 年間で 120 kg のごみを削減。生ごみをそのまま堆肥化するのではなく、天日干しをして水分を少なくしました。重さは 7～9 割減少しました。
市政提案で優秀賞を得た「ごみ減量 卵 1 個で 1 億円」は、旧石巻

市民 12 万人が、1 日卵 1 個分の重さ 60 グラムを減らすと、1 年で 1 億円のごみ処理費が削減できるという内容です。
その後、平成 15～18 年環境保全リーダーと共に、石巻市環境フェアにて天日干しの体験コーナーを実施。また、石巻市環境対策課のお茶殻、コーヒー殻を回収して天日干しをしたデータを収集。平成 18 年には庁舎および関連施設 214 箇所と事業所に対して生ごみの水切り啓発を行った。



女川町新多目的交通システム「シーパル号」
町内をめぐるシーパル号とエコ意識

女川町
http://www.town.onagawa.miyagi.jp

エントリー No.
24

実施期間 2006 年 9 月 25 日～
活動地域 女川町内
参加人数 女川市民

● 活動内容
女川町の高齢化率は 30% を超え、一人暮らし、二人暮らしも高水準ですが、バスの本数が極端に少ない、路線廃止などにより、交通手段の確保が必要です。
その中、多目的交通システム検討委員会を設置、路線バスとタクシーの有効性を併せ持ち、「ドア・トゥ・ドア」の交通システムを確立、町内全域的に活性化を図るものです。

現在は 5 台のバス「シーパル号」が運行、電話予約し、目的地まで送迎いたします。「シーパル号」は BDF 燃料を使用(一部車両を除く)、利用者にも呼びかけ使用済みのてんぷら油などを回収しています。
自分の利用する車両の燃料を自分で提供することで、町民自らが地球温暖化防止への取り組み、その意識の高まりが町内全域へ広がっています。



大学生を対象としたエコ&エネルギーワークショップ
および同ワークショップ発表会

東北電力株式会社 仙台営業所
http://plaza.rakuten.co.jp/ecoene2006/

エントリー No.
30

実施期間 2001 年～
活動地域 仙台市を中心に宮城県内
参加人数 1,900 名

● 活動内容
エコ&エネルギーワークショップは、「4R などの具体的な地球温暖化抑制行動に結び付けていくこと」を目的とする、大学生を対象とした半年間の体験学習。彼らをオピニオンリーダーとして育成すると共に、学習した成果を大学生を中心に、小・中学生とその保護者など市民に広く発表し、情報や意識の共有化に努めている。
発表会は、朗読・演劇・映画・写真のオムニバスステージ発表と、出演

者と観客の大学生全員でのテーブルトークの 2 部構成で行っている。短期間の講演会ではなく、半年をかけて参加大学生に環境・エネルギー問題に関する現場取材や専門家へのインタビューを通して、体験として実感していただけるようにしている。

また、それらの発表作品は、デジタル化し、環境教育の教材として活用している。





省資源・省エネルギーの活動

宗教法人 曹洞宗 長泉寺 ミネ幼稚園
<http://www5.ocn.ne.jp/~mine/>

エントリーNo.
32

実施期間 2004年4月1日～2006年3月31日
活動地域 角田市 宗教法人長泉寺付属ミネ幼稚園
参加人数 188名

活動内容
【テーマ】 ①ミネ幼稚園の電気の無駄使いをなくそう!
 ②ミネ幼稚園の水道の無駄使いをなくそう!

【対象者】 ①ミネ幼稚園教職員11名
 ②幼稚園児177名 ③幼稚園児保護者
【地域との関わり】 園内だけでなく地域貢献もしています。
 ①公共公園・公共道路のゴミ拾いを毎年1回実施 ②スーパーで地球温暖化防止セミナーを年1回実施 ③スーパーで交通安全セミナーを年1回実施 ④養老施設へ年2ヶ所慰問活動 ⑤幼稚園入り

口に休養施設を設ける ⑥幼稚園前の公道沿いにフラワーガーデン
【行動の重点事項】

①お金をかけないような「目的・目標」 ②「やってみせ、やらせて、よくほめる」を合言葉に繰り返し型教育の実施 ③点検表を作成し、点検を実施 ④保護者にできるだけ声がけをし、環に入っていたりするようにした

【他のテーマ】
 ①焼却廃棄物の削減(紙ゴミを分別して資源ゴミに) ②地域との関わりを重要視活動1ヶ月目にして10%以上の削減が可能となり、大きな環となった活動となりました。



仙台笹舟プロジェクト2007 ～人が乗れる笹舟づくりを通じての環境学習～

特定非営利活動法人 笹舟
<http://sasabune.xrea.jp/>

エントリーNo.
47

実施期間 毎年2～11月
活動地域 柴田町槻木(笹刈り・炭焼) 広瀬川宮沢緑地(舟づくり)
参加人数 60名

活動内容
 里山に向かい、生息系を変化させる恐れさえあるアスマネ笹が生い茂っている姿を見、この笹の使い道はないものかと考えた。そこで、環境学習という観点からも遊びながら環境を学ぶスタンスを、この笹を使った笹舟づくりを通じて提案できないか、と考えた。

【目的】
 子ども達が里山や広瀬川の現状を知り、環境に対して考えるきっかけづくり。

【内容】
 仙台七夕の時期に、「人が乗れる笹舟」を広瀬川の河川敷で市民と一緒に作成し、乗船してもらい、広瀬川と七夕を満喫してもらおう。後に舟を炭化して山や畑に戻す。翌年、笹舟の材料が里山でどのような状態になっているかを見学する。同時に整備を兼ねて笹刈りを行う。これを繰り返している。

また、立荒町小学校の総合学習として5年生を対象に舟づくりのワークショップを行い、里山や広瀬川の現状を講演させていただきました。



岩中環境戦隊 エコレンジャー

仙台市立岩切中学校 環境戦隊エコレンジャー

エントリーNo.
54

実施期間 3年間
活動地域 岩切中学校区
参加人数 29名

活動内容
 私の場合、初めてエコレンジャー SHOWを観たのは小学生の時。それまで怖いイメージのあった中学生が、踊ったり歌ったりしている姿に驚いた。友達をさそって説明会へ行き、陽気な先輩達に囲まれながら、エコの世界へと入り込んだ。

【テーマ】 Protect the earth エコレンジャー ～私達から 地域全体へ 広めよう エコ活動～
【エコレンジャーとは】 岩中の生徒の有志が集まった団体。地球の環境を守るため、中学生の私達だからこそできる活動を行う。

普段はレッド<リーダー>・クリア<分別>・グリーン<森林保護>・ピンク<美化>・イエロー<節電>・ブルー<節水>のカラーに分かれて、地道にエコを広めている。

エコレンジャーの長所は、幅広い年齢層に訴えかけられるところ。中学生からの「環境を守る」メッセージを、地域の皆さんがありがたく受け入れてくれる。自分達も、お客さんも楽しむことで、エコレンジャーの活動は成り立つ。

文化祭や施設で「エコレンジャー SHOW」を行ったり、バザーでゴミ分別の呼びかけ、地域清掃などを行っている。

岩切では、超有名なスーパーヒーローである!!



Green Drinks in Sendai

Green Bridge Project
<http://www.green-bridge.jp>

エントリーNo.
59

実施期間 2007年8月10日(金) 17:00～20:00
活動地域 仙台市青葉区五橋公園
参加人数 約450名

活動内容
 五橋地区はここ十年で変貌を遂げており、注目を浴びている地域。この地域で環境プロジェクトを行えば、仙台、東北、そして全国へと広がるのではと考え立ち上げました。
 「グリーンドリンクス」とは飲酒をしながらオープン・ディスカッションを行うアルコールの入ったサロン。
【テーマ】 夏祭りを楽しむ過程で、知らず知らずエコの気持ちが芽生えるイベント。
【ターゲット】 五橋地域にいる、普段環境問題にあまり興味がない人々。
【イベント概要】 ①プレイベント(五橋地区の清掃活動) ②ビアガーデン

ン風の夏祭り ③地域の町内会、学校、企業の環境活動の様子展示 ④地域の飲食店・食料品店による露店の出店 ⑤エコライブ開催 ⑥子ども向けエコワークショップの実施

【工夫した点】 ①会場を照らすキャンドルは廃油から ②竹灯籠は仙台七夕の竹から ③バイオディーゼルで発電 ④食べ残しは堆肥に ⑤ワケルモーターでトレイゴミゼロ ⑥ごみ分別徹底 ⑦ポスターはすべて再生紙 ⑧紙ゴミはすべてリサイクル など

【これからの計画】 ①毎月1回清掃活動 ②10月中旬エコカフェ開催 ③大芋煮会開催 ④クリスマスイベント開催 ⑤エコフリーマーケット開催 ⑥エコロック開催



● 参加賞 / 41団体



らくちんエコポケット (袋型環境家計簿)

仙台市地球温暖化対策推進協議会市民部会
<http://www.city.sendai.jp/kankyou/toshisuishin/kyogikai/jigyuu-kaheibo.html#kaheibo>

活動期間 2006年～ **活動地域** 仙台市
参加人数 200名

活動内容
 環境家計簿を誰でも負担なく記録・把握できる袋型家計簿にし、実施。

従来の環境家計簿は、家庭の二酸化炭素排出量削減と節約に有効であるが、継続には努力を要するものでした。そこで、電気・ガス・水道料金のお知らせを保存し、背の部分の表に料金・当月使用量・前年使用量を記入する袋型家計簿を実施することにしました。

「環境家計簿をつける」意識から「保管した順に料金などを書き込む」意識にチェンジし、だれでも負担なく記録を把握できるようになりました。

